

第3期境港市地域福祉計画

境港市地域福祉計画策定・評価委員会 委員名簿（敬称略）

任期：平成31年3月28日～令和4年3月31日

	氏名	区分	備考
1	松下 弘美	学識経験者(前・地域福祉計画策定委員会公募委員)	
2	保坂 史子	学識経験者(前・地域福祉計画策定委員会公募委員)	
3	高木 敏行	境港市社会福祉協議会会長	委員長
4	門脇 哲也	地区社会福祉協議会会長(渡地区)	
5	前田 忠彦	地区社会福祉協議会会長(上道地区)	
6	三好 伸作	境港市自治連合会会長	委員長職務 代理者
7	永井 俊	境港市民生児童委員協議会会長	
8	川口 昭一	境港市ことぶきクラブ連合会会長	
9	松下 秀子	境港市女性団体連絡協議会副会長	
10	植田 建造	前・境港市ボランティアセンター運営協議会会長	
11	佐々木 健雄	学識経験者(司法書士)	
12	渡邊 冬樹	境港青年会議所理事長	

一 一境港市地域福祉計画（第3期）の取組状況一

基本目標1 地域での「つながり」を大切にすまちづくり

施策の展開

①「顔の見える地域づくり」の推進

・地域内でのあいさつやひと声かけ運動や幅広い世代が交流できる機会を増やし、「顔の見える地域づくり」を推進します。

②「地域福祉活動」の推進

・地域コミュニティを形成する自治会や社会福祉協議会、高齢者クラブなどの活動を活性化させるとともに、日常的なふれあいを育み、地域の連帯が深まるような地域福祉活動を推進します。

主な取組み	平成30年度の実施状況	今年度の実施状況	今後の課題・必要な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ● 「地域見守り支え合い体制」の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、市が社会福祉協議会内に配置した生活支援コーディネーターや民間事業者と連携して、地域住民が日常生活の中で高齢者を支えるシステムの構築に取り組みます。（長寿社会課） 	<p>地域団体が高齢者等を見守る仕組みづくりを支援する高齢者見守りネットワーク構築事業を継続して行いました。（取組実績：4地区）</p>	<p>〔8月未まで〕取組実績4地区 9月以降、新たに1地区で取組が始まりました。</p>	<p>第7期境港市高齢者福祉計画・境港市介護保険事業計画において、令和2年度までに計7地区の取組を目標としており、引き続き地域における見守り体制づくりを推進します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 「地域包括支援センター」の機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「地域包括ケア」の実現に向け、地域包括ケアシステムの核を担う「地域包括支援センター」を市直営・一本化するなど、機能強化に取り組みましたが、今後、高齢者の増加に伴い、認知症高齢者や複雑な問題を抱える高齢者の増加により、さらなる相談・支援の需要が見込まれることから、体制を見直すなど、引き続き「地域包括支援センター」の機能強化に取り組めます。特に高齢者と障がい者がおられる世帯に対しては、世帯を単位として包括的な支援に取り組めます。（長寿社会課） 	<p>高齢者に関する相談・支援のニーズに合わせるために、地域包括支援センターの体制強化を図り、4月に1人、1月に1人増員し、計16人体制を整えました。 高齢者と障がい者がおられる世帯に対しては、関係各課や外部機関等と連携し、随時必要な支援に取り組ましました。</p>	<p>〔8月未まで〕 介護予防支援請求件数2,551件（2,286件） 総合相談受付件数1,770件（1,619件） ※カテゴリー内は前年度同期の件数 高齢者と障がい者がおられる世帯に対して、関係各課や外部機関等と連携し、随時必要な支援に取り組んでいます。</p>	<p>高齢者に関する相談・支援は、今後も件数の増加や多様化が予想されるため、引き続き地域包括支援センターの機能強化を図るとともに、外部機関等との連携を密にして世帯単位の包括的な支援に取り組めます。</p>

主な取り組み	平成30年度の実施状況	今年度の実施状況	今後の課題・必要な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ●「子育て世代包括支援センター事業」の推進 ・妊娠前から子育て期にわたる、妊娠、出産、子育てに関するワンストップの総合相談体制の更なる充実と子育て世代への支援、サービス提供の拡充に、引き続き取り組みます。（子育て支援課、健康推進課） 	<p>平成30年度の実施状況</p> <p>①子育てに悩む家庭を訪問して寄添型の支援を行う「子育て世代訪問支援事業」を新たに開始しました。 〔実績〕訪問26回、ケース会議6回 ②従来から実施しているおむつ券交付事業については、申請時に育児の悩みを聞き取りをするなど、相談機会を増やすよう取り組みました。 ③産後ケア事業に、心身のケア、助産師等による育児に関する助言・支援が受けられることができる宿泊型ショートステイの委託先を増やし利用がありました。 〔実績〕2人（合計8日間）</p>	<p>今年度の実施状況</p> <p>①2年目となる子育て世代訪問支援事業は、訪問支援員の登録者数が、初年度6人から3人増え、9人となりました。 〔9月末まで〕 ②おむつ券交付事業については、6か月健診時に申請を促すなど、未申請を減らすよう取り組んでいます。 ③〔9月末まで〕 デイケア 1人（1日） ヘルパー 2人（12時間） 産後うつ症状を早期に把握する質問票を取り入れた産後健診を2回に増やし、産後の初期段階の母子に対する支援を強化しました。</p>	<p>今後の課題・必要な取り組み</p> <p>寄添型の子育て世代訪問支援事業については、ニーズの掘り起こしに努めるほか、引き続き、子育て世代への総合的な支援を行っていきまします。産後ケアの利用については、ニーズの掘り起こしに努めます。 産後健診については、産後うつを早期に発見し、適切なサービスに繋げ、切れ目のない支援を強化していきまします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●「障がい者のグループホーム」の整備について ・障がいのある人が地域で安心して暮らせるための生活の場として、グループホームの整備について、ニーズの把握に努めながら進めていきます。（福祉課） 	<p>ニーズの把握と合わせ情報収集を行いました。（堺港市障がい福祉サービス事業所連絡会において部会を設置しました）</p>	<p>相談支援事業所に対してのニーズ調査及び情報収集を実施中です。</p>	<p>収集した情報を分析し、具体的なデータをもとに法人などとの意見交換を行います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●「地域子育て支援センター事業」の推進 ・身近に相談相手がなく子育てに不安を抱えた人への相談対応や、子育て世代の交流の場となる「地域子育て支援センター」の機能・運営の強化に取り組みます。（子育て支援課） 	<p>地域子育て支援センターでは、同世代の子どもをもつ親がコミュニケーションをとる機会を増やすため、ミニイベントを毎週開催しました。そのほか、栄養士、保健師等による相談会の実施、子育てサークルに対する支援を実施しました。 〔利用者数実績〕 ひまわり 18,816人 きらきら 6,626人</p>	<p>〔8月末まで〕 ひまわり 7,057人 きらきら 2,750人 （前年同時期比96%） ひまわりタイム（毎週火曜）、きらきらタイム（毎週木曜）のほか、離乳食講習会、親子クッキング、0歳さんあつまれへ、絵本の読み聞かせ等を実施し、親子の触れ合い（親子関係づくり）の促進、子育て世代の交流にに取り組んでいます。</p>	<p>親子の触れ合い（親子関係づくり）を大切にしながら、子育てに不安を抱えた人が1人で悩むことがないように、職員による相談対応を図っていきまします。 また、子育てサークルの支援にも引き続き取り組みまします。</p>

主な取り組み	平成30年度の実施状況	今年度の実施状況	今後の課題・必要な取り組み
<p>●「高齢者の生きがいづくり」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立した生活を継続することができるよう、高齢者が参加するサークルやコミュニティ活動を支援し、社会参加の促進を通じた介護予防の推進、高齢者の生きがい・やりがいの増進を図ります。（長寿社会課） 	<p>高齢者クラブをはじめ、介護予防に取り組む地域住民団体の活動及び立ち上げ支援を行いました。助成対象：3団体</p> <p>社会的孤立の解消と自立生活の助長等を目的として各地区社協に委託して高齢者ふれあいの家事業に取り組みました。</p> <p>36カ所、延15,969人</p>	<p>高齢者ふれあいの家事業に継続して取り組んでいるほか、地域住民団体の活動及び立ち上げ支援（助成対象想定：3団体）を実施しています。</p>	<p>ますます高齢化が進む中、高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進するために、高齢者ふれあいの家事業をはじめ住民同士で行う介護予防や健康づくりの活動支援を図るとともに、高齢者サークル活動支援に引き続き取り組みます。</p>

基本目標2 地域福祉をつくる人づくり

施策の展開

①「福祉意識」の向上

・地域福祉を推進する上では、市民一人ひとりの福祉に関する意識向上と実践が必要です。そのために、福祉施設などとの日常的な交流や福祉活動の情報提供により、交流活動等への参加を促し、福祉意識の向上に努めます。

② 福祉を担う人材育成と発掘

・福祉活動を継続・発展させるため、ボランティア活動の後継者の育成や新たな人材発掘に努めます。また、ボランティア活動などへの参加のきっかけづくりとなる講座や体験事業、福祉教育を推進し、地域の人が主体的に参加できる場の充実に努めます。

主な取り組み	平成30年度の実施状況	今年度の実施状況	今後の課題・必要な取り組み
<p>●「地域で子育て世代を支える活動」の推進</p> <p>・子育てについて援助を受けたい人と、援助を行いたい人が会員となり、会員の互助による子育て支援の仕組みである「境港市ファミリーサポートセンター」により、地域で子育て世代を支える活動を推進します。(子育て支援課)</p>	<p>境港市ファミリー・サポートセンターでは、相互援助による子どもの預かり支援のほか、会員同士の交流を深めることを目的として全体交流会を実施しました。平成30年度は、利用対象を中学生まで拡大し、また、新たに在宅で育児をしている世帯の利用料助成事業も開始しました。</p> <p>〔運営状況〕H31年3月末現在 会員数 607人 利用件数 610件 〔利用料助成の利用状況〕 ・在宅育児世帯 13人 ・ひとりの親家庭等 1人</p>	<p>〔8月末現在〕 会員数 601人 利用件数 527件 (前年同時期に比べ、利用件数が25.3%の大幅増)</p> <p>※今年度の利用が大幅増となっているのは、父子世帯が保育所送迎で利用されたことが大きな要因。</p> <p>〔8月末まで〕利用料助成の利用状況 ・在宅育児世帯 3人 ・ひとりの親家庭等 3人</p>	<p>出生や転入の手続きで来庁された際に制度を紹介するほか、市報等でのPRを図っていきます。</p>
<p>●「ボランティア活動」の普及</p> <p>・「市民総合ボランティアセンター」や「境港市社会福祉協議会福祉ボランティアセンター」と連携を図り、市民に対するボランティア活動の普及に努めるとともに、市民がボランティア活動に参加しやすい機会の充実に努めます。(福祉課、長寿社会課)</p>	<p>市民総合ボランティアセンターの市社会福祉協議会への移管について協議が整いました。</p>	<p>10月1日から市社会福祉協議会が運営する「境港市ボランティアセンター」へ業務を移管するとともに、高齢者の社会参加を目的とした介護支援ボランティア制度の実施について委託しました。</p>	<p>「境港市ボランティアセンター」が、ボランティア活動の中核施設としての機能を充分発揮できるよう支援します。</p>

主な取り組み	平成30年度の実施状況	今年度の実施状況	今後の課題・必要な取り組み
<p>●「高齢者の社会参加といきがいづくり」の推進</p> <p>・ボランティアで介護予防活動を行うとするとする地域住民の活動等の支援を行い、地域住民が主体的に参加できる場の充実を図り、高齢者の社会参加を推進します。(長寿社会課)</p>	<p>認知症サポーター養成講座を随時行いました。H30年度受講者数 320人</p> <p>介護支援ボランティアポイント制度を既に導入している他市町村の状況確認と市内の介護施設を運営する事業者を対象に「高齢者ボランティア」に関するアンケートを実施(H30.12)しました。</p>	<p>〔8月末までの状況〕</p> <p>ボランティアポイントの制度設計など準備を進めました。</p> <p>市報9月号で周知を図り、ボランティア手帳等の準備も整え、当初の予定どおり新たに10月1日から介護支援ボランティアポイント事業を開始しました。</p>	<p>介護予防とともに認知症予防の理解を深めるために、認知症サポーター養成講座を継続して開催します。</p> <p>介護支援ボランティアポイント制度は開始間もないため、高齢者の社会参加を促進する手段のひとつとして定着するように、関係団体の会議や催しにおいて周知に取り組みます。</p>
<p>●「健康づくり地区推進員」、「食生活改善推進員」の活動促進</p> <p>・市内7地区の健康づくり地区推進員、食生活改善推進員の活動を積極的に支援するとともに、市民の健康づくりを地域ぐるみで推進するため、研修や学習の機会を提供し、健康づくりの中心となる人材の育成に努めます。(健康推進課)</p>	<p>「健康づくり地区推進員」、「食生活改善推進員」の地域活動の支援として、学習会の開催や、機会をとらえ研修等の案内を行いました。「食生活改善推進員」が地区で行う子供クッキング教室の事前学習の場として「フレス子供クッキング」を7月に1回実施しました。</p>	<p>「健康づくり地区推進員」42人を新たに任命し(9月)、健康や健康づくりに関する研修会を行いました。また、「食生活改善推進員」の研修方も含め、健康や健康づくりに関する講座や研修の案内を行い、健康に関する普及啓発を実施しました。また、「食生活改善推進員」の養成講座を6月から開始し、8月末までに4回、今後は12月末までに5回実施予定としており、計9回実施します。受講者は19人となっております。</p>	<p>引き続き、「健康づくり地区推進員」、「食生活改善推進員」の活動支援を実施していきます。</p>

基本目標3

安心してサービスを利用できる仕組みづくり

施策の展開

① 「情報提供」の充実

・講座や講演会、広報紙、ホームページなどによる啓発活動を通し、保健・医療・福祉・子育てなどのサービスに関する情報提供を充実するとともに、だれもが均しく必要な情報を得られるように取り組みます。

② 「総合的な相談体制」の充実

・高齢者・子育て家庭・障がいのある人それぞれに相談窓口で対応し、相談内容に応じて関係各課との連携により、専門機関へつなぐなど、総合的な相談体制の充実に取り組みます。民生児童委員と連絡を密にし、地域での相談には、迅速な対応に努めます。

③ 各種サービスの充実

・保健、医療、福祉、就労など高齢者や子育て家庭、障がいのある人の抱える様々なニーズに沿ったサービスの充実に努め、高齢者や子育て家庭、障がいのある人などが地域で安心して暮らせる社会の実現に取り組みます。

主な取り組み	平成30年度の実施状況	今年度の実施状況	今後の課題・必要な取り組み
<p>●相談体制の充実と権利擁護の推進</p> <p>・障がいのある人の身近な場所に障がいに対応した相談員を配置し、障がいのある人が地域で安心して暮らせる環境の整備を進めます。(福祉課)</p>	<p>より身近なところで、相談ができるように、一般相談支援事業を西部市町村共同委託から市内法人1か所へ単独委託とし相談員の増員など支援体制の強化を図るための協議が整いました。</p>	<p>一般相談支援事業を社会福祉法人鳥取県厚生事業団へ委託して実施をしています。 委託先の相談員3人⇒4人(常勤換算3.5人)に増員</p>	<p>市内での一般相談支援事業体制の充実を引き続き図っていきます。</p>
<p>・「地域包括支援センター」の機能強化を図るとともに、高齢者と障がいのある方等が同居する世帯等には、関係機関と連携し、世帯全体を視野に入れた総合的な支援に取り組みます。(長寿社会課、福祉課)</p>	<p>高齢者に関する相談・支援のニーズに 대응するために、地域包括支援センターの機能強化を図るために4月に1人、1月に1人増員し、計16人体制を整えました。 高齢者と障がい者がおられる世帯に対しては、関係各課や外部機関等と連携し、随時必要な支援に取り組みました。</p>	<p>[8月未まで] 介護予防支援請求件数2,551件(2,286件) 総合相談受付件数1,770件(1,619件) ※カッパ内は前年度同期の件数 高齢者と障がい者がおられる世帯に対して、関係各課や外部機関等と連携し、随時必要な支援に取り組みしています。</p>	<p>高齢者に関する相談・支援は、今後も件数の増加や多様化が予想されるため、引き続き地域包括支援センターの機能強化を図るとともに、外部機関等との連携を密にして世帯単位の包括的な支援に取り組みます。</p>

主な取り組み	平成30年度の実施状況	今年度の実施状況	今後の課題・必要な取り組み
<p>・「成年後見サポーターセンター」による、高齢者や障がいのある人の権利擁護を推進します。(長寿社会課、福祉課)</p>	<p>成年後見サポーターセンターを運営する(一社)権利擁護ネットワークに事業委託し、権利擁護の相談支援を実施しました。 H30年度相談件数: 127件 (鏡港市)</p>	<p>昨年度に引き続き(一社)権利擁護ネットワークに事業委託して権利擁護の相談支援を実施しています。</p>	<p>今後も高齢化が進み認知症の方が増加することともに、障がいのある人を含め、相談や支援の需要が増えることが予想されるため、継続して権利擁護に取り組みます。</p>
<p>・さまざまな病気や障がいに対する正しい知識と理解が進むように啓発に努めます。(福祉課、健康推進課)</p>	<p>精神障がい者家族会「まつば会」とともに、精神障がいに対する啓発のために、「こころの学習会」を4回開催し、延べ144人の方が参加されました。</p> <p>「障がい者自発的活動等支援事業」により、あいサポート運動を実施しました。</p>	<p>精神障がい者家族会「まつば会」とともに、精神障がいに対する啓発を実施しています。 〔8月末まで〕 ・こころの学習会 3回 延88人</p> <p>「障がい者自発的活動等支援事業」により、あいサポート運動を実施しています。</p>	<p>引き続き、精神障がいに関係する団体等の活動の支援を行い、市民への精神障がいに対する正しい知識と理解の普及に努めていきます。</p> <p>引き続き、あいサポート運動を推進していきます。</p>
<p>・児童虐待を防止するため、学校、保育園、医療機関その他の関係機関と連携し、子ども達が必要とする支援が受けられるよう取り組んでいます。(子育て支援課)</p>	<p>児童虐待防止として、学校、保育園、医療機関、その他の関係機関と連携し、子ども達が必要とする支援を早い段階から受けられるよう取り組みました。</p> <p>①代表者会議、各機関との情報共有会議、個別ケース会議を開催しました。 ②児童虐待防止の啓発として、公民館まつり及び市内スパー前での啓発、関係機関向けの研修会を開催しました。</p>	<p>①関係機関と連携し、早期発見、早期対応に取り組んでいます。 ・要保護児童対策地域協議会構成機関の代表者会議(5月27日) ・情報共有会議(中学校、小学校、保育園それぞれと開催) ・個別のケース会議(随時) ②公民館まつりでの啓発に加え、水木しげるロードでの虐待防止啓発パレード(11月4日)、研修会(11月29日予定)を開催</p>	<p>定期的に学校、幼稚園、保育園等と情報共有の会議を開催し、支援が必要な児童の早期発見に努め、支援が適宜受けられるよう取り組んでいます。</p>
<p>・相談機関・関係機関、各種福祉事業、講座・講演会、イベントなどについての情報提供の充実を図ります。(福祉課、長寿社会課、子育て支援課、健康推進課)</p>	<p>障がい者、高齢者および子育てに関するイベントや関係機関の紹介、各種関連事業について、市報や市ホームページに掲載を行うとともに、各種団体の会合で情報提供等を行うなど機会をとらえて情報発信を行いました。</p> <p>また、子育て情報紙を毎月発行し、保育園や地域子育て支援センター、公民館等に掲示すると、情報提供を行いました。</p> <p>30年度は、新たに妊娠から子育て期に利用できるサービスを紹介した冊子「子育てサポートガイド」を作成し、すべての妊産婦を対象に個別説明を行いました。</p>	<p>障がい者、高齢者および子育てに関するイベントや関係機関の紹介、各種関連事業について、市報や市ホームページに掲載を行うとともに、各種団体の会合で情報提供等を行うなど機会をとらえて情報発信を行いました。</p> <p>また、継続して子育て情報紙を毎月発行しているほか、「子育てサポートガイド」は改訂版を作成し、妊産婦への説明を実施しています。</p>	<p>引き続き、積極的な情報発信を行います。</p>

主な取り組み	平成30年度の実施状況	今年度の実施状況	今後の課題・必要な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ●生活習慣病予防の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査、特定保健指導の広報に努め、受診率等の向上を図るとともに、食生活や運動習慣改善の取り組みを支援します。(健康推進課) 	<p>事業等の機会を捉え、健康診査の必要性の啓発や、個別に受診勧奨はがきを送付する等、受診率の向上を図る取り組みを行いました。勧奨はがきを送った方のうち、肺がん検診では約3割の方が受診されました。</p>	<p>事業等の機会を捉え、健康診査の必要性の啓発や、個別に受診勧奨はがきを送付、40歳の特定健康診査自己負担金の無料化等、受診率の向上を図る取り組みを実施しています。</p>	<p>受診状況の分析を行い、効果的な受診勧奨の方法を検討していきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の健康づくりと介護予防の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・介護が必要となるおそれの高い高齢者(事業対象者)が要介護状態になることを防ぎ、健康でいきいきとした生活が続けられるよう「介護予防事業を推進するとともに、「健康寿命の延伸」に對する意識を高め、日頃から自分事として捉え、実践する住民主体の健康づくりシステムを構築します。(長寿社会課) 	<p>平成30年度、住民の方々が自分の心と体の状態を知り、自ら予防に取り組むことができる仕組みづくりとして、新たにフレイル予防事業を取り入れられました。 【実績】 講演会(1回) ・フレイルサポーター養成講座 (2回、サポーター33人賛成) フレイルチェック(7回、103人参加)</p>	<p>これまでにフレイルサポーター養成講座(2回、サポーター16人賛成)を開催したほか、フレイルサポーターとともに各地区を回り、フレイルチェック(9回、107人)を実施しました。また、運動機能向上や低栄養予防などの教室、講演会を実施し、フレイル予防の具体策について随時情報提供を行っています。</p>	<p>継続してフレイルサポーター養成講座やフレイルチェックに取り組み、チェックの結果を自覚してもらい、運動機会等への自発的な参加を促進したり、専門機関に繋げることで、心と体の健康の維持・改善を図っていきます。既にフレイルチェックを受け、その維持・改善に取り組みされている住民の方々のその後のフォローのシステムを検討する必要があります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●健康づくりのための研修会・教室等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・心と身体の健康づくりのために必要な研修会等を開催し、市民の健康に対する意識向上を図ります。(長寿社会課、健康推進課) 	<p>「介護予防防カ向上トレーニングの実施(238回、延べ2903人)や、市内全地区で「いきいき百歳教室」を開催(平成29～30年度)し、普及啓発に取り組みました。公民館等において、境港医師協会とともに、疾病の早期発見の必要性や健康づくりに関する講演会を8回開催し、延べ197人の方が参加されました(健康推進課)。</p>	<p>公民館等において、境港医師協会とともに、疾病の早期発見の必要性や健康づくりに関する講演会を開催しています。10月末で3回実施し、延べ73人の方が参加されました。介護予防防カ向上トレーニングは、これまでに計115回開催し、延べ1,383人が参加されました。今後は11月から年度末まで計80回開催します。</p>	<p>市民のライフステージに合わせた健康づくりに必要な研修会、講演会等を開催するなど健康づくりのための事業を引き続き推進していきます。運動習慣を身に付けて健康な状態を保っていたために、継続して介護予防防カ向上トレーニングを実施します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●ヘルスケア事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「うつ病になりにくい心を育てる」という視座で心のヘルスケア事業を推進します。(健康推進課) 	<p>カウンセリング事業として、月1回相談日を設け、こころの健康についての相談に対応し、延べ16人の方が相談に来所しました。</p>	<p>カウンセリング事業として、月1回、年12回の相談日を設け、こころの健康についての相談に対応しています。 (8月末まで)5回 延5人</p>	<p>引き続き、相談に対応できる体制を維持し、受診が必要なのは医療機関につなげていきます。</p>

主な取り組み	平成30年度の実施状況	今年度の実施状況	今後の課題・必要な取り組み
<p>●地域包括ケアの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅医療と介護の連携について、地域の社会資源の把握や課題抽出を行い、きめ細やかな医療と介護のサービス提供が可能となるよう地域包括ケアシステムを構築します。(長寿社会課) <p>●いのちとこころのプロジェクト事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 自死予防対策の一環として平成24年度から実施している、小学6年生への「こころからのアンケータ」を継続実施し、酷暑期からの自死予防に努めます。また、子どもたちの心が辛くなった時の相談場所、社会資源等について、地域住民に啓発するため、こころの出前講座も継続して実施します。(健康推進課) 	<p>地域包括支援センターに総合相談窓口を設置したほか、地域ケア会議(3回)や多職種連携研修会(1回)を開催しました。</p> <p>鳥取県西部圏域の医療、介護機関の情報を提供する医療介護連携ガイド(ウェブサイト)や西部在宅ケア研究会に参加しました。</p>	<p>[8月末まで]</p> <p>地域ケア会議を2回開催し、高齢者に関する生活課題の解決策を議論しました。</p> <p>9月以降も、地域ケア会議(1回)や多職種連携研修会(1回)を開催し、医療、介護と地域包括の見える関係づくりの構築に取り組みます。</p> <p>昨年度に続き西部圏域の広域連携に取り組んでいます。</p>	<p>地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域ケア会議や多職種連携研修会を継続して開催することにより、医療、介護、地域の連携を一層深めていきます。</p> <p>鳥取県西部圏域の医療、介護が連携した広域的な取り組みを継続して推進します。</p>
<p>●(仮称) 境港市健康づくり推進計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に「健康増進計画」、「食育推進基本計画」、「自死予防対策計画」を包括した(仮称)境港市健康づくり推進計画を策定し、市民の健康づくり全般における将来ビジョン、健康目標達成のための数値設定や具体的な行動内容等を定め、健康寿命の延伸を図ります。(健康推進課) 	<p>「境港市健康づくり推進計画」を策定しました。</p>	<p>境港市健康づくり推進計画」に基づき、新たな取り組みとして、「エジンバラ産後うつ病質問票を活用した産後健診」、「骨密度検査」、「ふしめ歯科検診」等を行っています。</p> <p>なお、策定・評価委員会を11月に開催し、計画の進捗状況の確認、評価を行い、次年度事業に反映させます。</p>	<p>計画に基づき、目標達成のための取り組みを実施します。また、毎年度、評価委員会を開催して、計画の実施状況の確認と評価を行っていきます。</p>

主な取り組み	平成30年度の実施状況	今年度の実施状況	今後の課題・必要な取り組み
<p>●消費者行政の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費者問題・生活問題に関する出前講座の開催や啓発活動、また消費生活相談員のレベルアップを図るなど相談窓口の機能強化に取り組んでいます。(水産商工課) 	<p>市が主催するオンラインカフェや自治会に参加し、出前講座を実施(自治会)。多発する消費者トラブルの傾向や詐欺手口の事例紹介などを通して、高齢者等が被害にあわないよう啓発活動を行いました。</p> <p>また、消費生活相談員のレベルアップのために、国民生活センター等が主催する研修へ参加し、消費者行政の基礎知識から最新のトラブル事例まで幅広く学び、相談員及び担当職員の問題解決力、相談機能の強化を図りました。</p> <p>(出前講座実施回数・参加人数) おれんじカフェ 2回 32人 自治会 1回 27人</p>	<p>消費生活相談員のレベルアップのために、国民生活センター等が主催する研修へ参加し、消費者行政の基礎知識から最新のトラブル事例まで幅広く学び、相談員及び担当職員の問題解決力、相談機能の強化を図りました。 (8月末までの相談件数) 777件</p>	<p>消費者トラブル、詐欺被害の内容が多様化していることから、出前講座、市報等により、引き続き啓発活動を行い、高齢者等の被害防止、解消に向け取り組みます。</p> <p>また、引き続き研修への参加を通じて、相談業務対応する職員の問題解決力向上を図ります。</p>
<p>●災害時における要支援者避難体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害が発生し又はそのおそれが高まったときに、要支援者の避難誘導等を迅速かつ適切に実施するために、あらかじめ、要支援者一人ひとりについて、誰が支援して、どこで避難所等に避難させるか定めておくことが必要です。このため、民生児童委員などの協力を得て「避難行動要支援者避難支援計画(個別支援計画)」を作成し、これを自主防災組織や自治会等に配付し、平常時からの見守りマップづくり等に活用することと、災害時の避難体制の構築を進めていきます。(自治防災課、長寿社会課、福祉課、子育て支援課、健康推進課) 	<p>民生児童委員の協力により「避難行動要支援者避難支援計画(個別支援計画)」を作成し、民生児童委員や関係機関、自治会(自主防災組織)と情報共有を図っています。</p> <p>災害時の避難体制の構築に向けて、「支え愛マップ」づくりに取り組みされる地区(1地区)もありました。</p> <p>[実績] 避難行動要支援者名簿の作成・配布 高齢者実態調査対象世帯数 65歳以上独居1,549世帯 80歳以上高齢者世帯226世帯(長寿社会課)</p>	<p>「避難行動要支援者避難支援計画(個別支援計画)」を更新し、8月から10月にかけて、民生委員をはじめ関係機関に配布しました。</p> <p>新たに2地区で「支え愛マップ」づくりに取り組まれました。</p> <p>[実績] 避難行動要支援者名簿の作成・配布 高齢者実態調査対象世帯数 65歳以上独居1,627世帯 80歳以上高齢者世帯231世帯(長寿社会課)</p>	<p>民生児童委員の協力をいただき、引き続き避難支援計画の更新を行います。また、「支え愛マップ」づくり等を支援し、災害時だけでなく、平常時から地域で高齢者を見守る体制づくりを進めていきます。</p>

(参 考)

(関連計画) 境港市地域福祉活動計画の概要 (社会福祉協議会)

(計画期間：平成30年度～34年度)

主な取り組み	平成30年度の実施状況	今年度の実施状況
<p>1 だれでも安心できる福祉サービス</p> <p>(1) ふれあい総合相談センター事業の推進</p> <p>(2) 福祉サービスを利用するための相談支援体制の充実</p>	<p>・心配ごと相談、法律相談、福祉相談 ○法律相談 毎月、第1.3金曜日 ○一般相談 毎月、第2金曜日 ○福祉相談 適宜 ○相談件数 109件</p> <p>・福祉サービス利用援助事業、成年後見事業、障がい者相談支援事業</p> <p>○福祉サービス利用援助事業 専門員の配置 2名(兼任) 担当職員との配置 2名(兼任) 生活支援員の配置5名(民生委員) 利用契約締結件数2.5件(実人数) 相談援助件数1,051件(延人数) 内部審査会の開催 年1.2回(月1回開催)</p> <p>○成年後見事業 職員の配置 2名 受任件数 9件 ○障がい者相談支援事業 障がい者相談支援専門員の配置 2名 契約件数 53件</p>	<p>・心配ごと相談、法律相談、福祉相談 ○法律相談 毎月、第1.3金曜日 ○一般相談 毎月、第2金曜日 ○福祉相談 適宜</p> <p>・福祉サービス利用援助事業、成年後見事業、障がい者相談支援事業</p> <p>○福祉サービス利用援助事業 専門員の配置 2名(兼任) 担当職員の配置 2名(兼任) 生活支援員の配置5名(民生委員) 利用契約締結件数 相談援助件数 内部審査会の開催 月1回開催</p> <p>○成年後見事業 職員の配置 2名 受任件数 8件 ○障がい者相談支援事業 障がい者相談支援専門員の配置 2名</p>
<p>(3) 生活支援活動(資金貸付事業等)の推進</p>	<p>・生活福祉資金貸付、社会福祉資金(緊急小口資金)貸付の実施</p> <p>○生活福祉資金貸付 相談延件数 11件 貸付件数 5件 貸付金額 1,478千円 ○社会福祉資金貸付 相談延件数 52件 貸付件数 13件 貸付金額 280千円</p>	<p>・生活福祉資金貸付、社会福祉資金(緊急小口資金)貸付の実施</p>

主な取り組み	平成30年度の実施状況	今年度の実施状況
<p>(3) 生活支援活動（資金貸付事業等）の推進</p> <p>(4) 高齢者の運動習慣・体力維持（介護予防）の推進</p>	<p>生活困窮者自立相談支援事業の受託 相談件数 42件 契約件数 13件</p> <p>その他の支援 ○フードエイト事業の実施 受入件数：39件 支出件数：50件 ○制服しあわせネット事業 受入件数：9件 提供件数：7件 ○えんくるり事業 援助件数：3件 援助金額：63,555円</p> <p>介護予防筋力向上トレーニング事業 ※毎週火曜日に実施 健康運動指導士1名、補助員1名、運転手1名を配置 第1クール：5月～9月（19回）第2クール：11月～3月（20回）参加延人数：700人</p> <p>介護予防、通所型サービス事業 ※毎週金曜日に実施 健康運動指導士1名、補助員2名、運転手1名を配置 実施回数：50回 参加延人数：674人</p>	<p>生活困窮者自立相談支援事業の受託</p> <p>その他の支援 ○フードエイト事業の実施 ○制服しあわせネット事業 ○えんくるり事業</p> <p>介護予防筋力向上トレーニング事業 ※毎週火曜日に実施 健康運動指導士1名、補助員1名、運転手1名を配置 第1クール：5月～9月（20回）</p> <p>介護予防、通所型サービス事業 ※毎週金曜日に実施 健康運動指導士1名、補助員2名、運転手1名を配置</p>
<p>2 安心して暮らせる地域づくり</p> <p>(1) 小地域福祉活動の推進</p>	<p>高齢者ふれあいの家事業の支援、高齢者食事サービス事業の支援、認知症予防サークル活動の支援など</p> <p>高齢者ふれあいの家事業の支援 ふれあいの家援助員等の育成、活動支援として「地域で使える高齢者レクリエーション」講座の開催（年1回）</p> <p>高齢者食事サービス事業の支援 食育サードサービス事業への助成 7地区で年間7回開催されている食事サービス事業に652千円の助成 延対象者：3,259人 延奉仕者：1,037人</p> <p>認知症予防サークル活動の支援 健康運動指導士の派遣</p> <p>認知症予防サークル学習会&交流会の共催（年1回） 認知症になっても安心して暮らせるまちづくり市民大会の協力（年1回） ○ノルディック・ウォーキング講座の実施 年2回開催（22名参加） ○一人暮らし高齢者等非常時持出セット設置事業 持ち出しセット150個配付 ○車イス短期貸出（無料） 年間：58回</p>	<p>高齢者ふれあいの家事業の支援、高齢者食事サービス事業の支援、認知症予防サークル活動の支援など</p> <p>高齢者ふれあいの家事業の支援 ふれあいの家援助員等の育成、活動支援として「地域で使える高齢者レクリエーション」講座の開催（年1回）</p> <p>高齢者食事サービス事業の支援 食育研修会の開催（年2回） 7地区で回開催されている食事サービス事業に助成</p> <p>認知症予防サークル活動の支援 健康運動指導士の派遣</p> <p>認知症予防サークル学習会の実施 年2回開催 ○一人暮らし高齢者等非常時持出セット設置事業 1月予定 ○車イス短期貸出（無料）</p>

主な取り組み	平成30年度の実施状況	今年度の実施状況
<p>(2) 地域での見守り、支え合い活動の推進</p>	<p>・ 近所ボランティア活動の推進 (あったかハートおたがいがいさま事業)</p> <p>期間：3年間 (平成28年度～平成30年度) モ子ル地区：上道地区 定例会：毎月1回開催 先遣地視察：鳥取県松江市法吉地区 12月11日(火) 18名参加 活動発表：県民総合福祉大会8月28日(火) 米子コンベンションセンター鳥取県福祉研究学会2月16日(土) 倉吉市・鳥取看護大学</p> <p>・ 生活支援体制整備事業</p> <p>生活支援コーディネーターの配置 1名(専任) 地域住民及び各種団体へ説明会の開催 44回(参加者 延べ1,040名) 支え愛マップ講習会等 7回(参加者 延べ448名) 生活支援コーディネーター関係の研修会、連絡会の出席 24回</p> <p>・ ふれあい、いきいきサロンの支援</p> <p>市内、4カ所で開催されているふれあいサロンに助成と支援を実施 〈瀬地区〉ふれあいサロン「風」、〈外江地区〉ふれあいサロン「藪内商店」、ふれあいサロン「笑待夢」、〈余子地区〉ふれあいサロン「あすく」</p> <p>・ 民生児童委員協議会、地域包括支援センターとの連携</p> <p>○ 民生児童委員協議会との連携 事務局の運営 地区担当制を設け、地区定例会に出席 (月1回) 児童福祉専門委員会の開催 (2カ月に1回、開催) 以上により、民生委員・児童委員からの相談を受け支援を行っている。 ○ 地域包括支援センターとの連携 高齢者の包括支援センターからの相談、社協への相談について、情報交換を行いながら対応している。</p>	<p>・ 近所ボランティア活動の推進 (あったかハートおたがいがいさま事業) 平成30年で終了</p> <p>・ 生活支援体制整備事業</p> <p>生活支援コーディネーターの配置 名(専任) 地域住民及び各種団体へ説明会、支え愛マップ講習会等 生活支援コーディネーター関係の研修会、連絡会の出席</p> <p>・ ふれあい、いきいきサロンの支援</p> <p>市内、4カ所で開催されているふれあいサロンに助成と支援 新たに、中浜で1サロンの開設助成</p> <p>・ 民生児童委員協議会、地域包括支援センターとの連携</p> <p>○ 民生児童委員協議会との連携 事務局の運営 地区担当制を設け、地区定例会に出席 (月1回) 児童福祉専門委員会の開催 (2カ月に2回、開催) 以上により、民生委員・児童委員からの相談を受け、支援を行っている。 ○ 地域包括支援センターとの連携 高齢者の包括支援センターからの相談、社協への相談について、情報交換を行いながら対応している。</p>

主な取り組み	平成30年度の実施状況	今年度の実施状況
<p>(3) 高齢者、障がい者関係団体の活動支援</p> <p>(4) 子育て環境の整備促進と子育て事業への支援</p> <p>(5) 地区社協との連携</p>	<p>・福祉バス運行事業、福祉団体事務局の運営</p> <p>○福祉バス運行事業 高齢者団体、障がい者団体や関係団体の生きがい対策としてのレクリエーション、大会等に運行を行っている。 運転手2名 マイクロバス1台 利用回数 127回 利用者数 2,199名</p> <p>○福祉団体事務局の運営 焼港市ことばきクラブ連合会、焼港市身体障がい者福祉協会、焼港市精神障がい者家族会まつば会、焼港市障がい児(者)育成会の活動支援の実施 専任職員 1名配置</p> <p>・ファミリリーサポートセンター利用料金助成</p> <p>育児サポート利用券 1件 3,000円 (300円×10枚) 60件分を予算化 実績：申請件数 61件 利用件数 359枚</p> <p>・保育園、幼稚園への児童図書贈呈 実績：市内14園に199冊を贈呈。 延べ：3,483冊(平成16年から)</p> <p>・地区社協会長連絡会、地区社協活動費の助成、共同募金の配分、配食サービス事業の助成、敬老会事業</p> <p>○地区社協会長連絡会 年12回の開催(月、1回) 7地区：3,591千円</p> <p>○配食サービス事業の助成 設立研修会の開催(年2回) 食ササービス事業への助成 7地区で年間71回開催されている食ササービス事業に652千円の助成 延別数：3,259人 延率：1,037人</p> <p>○敬老会事業 市内7地区で開催 参加者：1,258人 委託料：3,300千円 その他：当日の運営を支援 交際費：576千円(192人) 福祉バスの運行</p>	<p>・福祉バス運行事業、福祉団体事務局の運営</p> <p>○福祉バス運行事業 高齢者団体、障がい者団体や関係団体の生きがい対策としてのレクリエーション、大会等に運行を行っている。 運転手2名 マイクロバス1台</p> <p>○福祉団体事務局の運営 焼港市ことばきクラブ連合会、焼港市身体障がい者福祉協会、焼港市精神障がい者家族会まつば会、焼港市障がい児(者)育成会の活動支援の実施 専任職員 2名配置</p> <p>・ファミリリーサポートセンター利用料金助成</p> <p>育児サポート利用券 1件 3,000円 (300円×10枚) 60件分を予算化</p> <p>・保育園、幼稚園への児童図書贈呈</p> <p>・地区社協会長連絡会、地区社協活動費の助成、共同募金の配分、配食サービス事業の助成、敬老会事業</p> <p>○地区社協会長連絡会 年12回の開催(月、1回) ○地区社協活動費の助成、共同募金の配分</p> <p>○配食サービス事業の助成 設立研修会の開催(年2回) 食ササービス事業への助成</p> <p>○敬老会事業 市内7地区で開催</p>

主な取り組み	平成30年度の実施状況	今年度の実施状況
<p>3 地域福祉を推進する人づくり</p> <p>(1) 福祉意識の醸成・啓発と福祉に関する情報発信</p> <p>(2) ボランティア活動の推進と福祉人材の育成</p>	<p>・学校での福祉教育の支援、福祉現場での体験機会の提供、地域での福祉教育の推進、市社協事業・関連福祉行事等の情報提供と啓発</p> <p>○高齢者疑似体験の実施 場所：埼玉総合技術高校 参加者：38人</p> <p>○広報発行事業 年12回発行（月、1回）</p> <p>○ホームページの充実</p> <p>○年間、随時更新、福祉関係情報の発信</p> <p>○視覚障がい者の方への音訳広報の作成 利用者数：5名×12ヶ月</p> <p>○福祉モニターの設置 7人</p> <p>・ボランティア研修会の開催、ボランティア保険加入支援、市民総合ボランティアセンターとの連携、災害時のボランティア活動の推進</p> <p>○手話ボランティア講座 2回開催：16名受講</p> <p>○ボランティア入門講座 1回開催：19名受講</p> <p>○ボランティア活動保険掛金の助成 ボランティア24団体・14名個人 828名加入、保険料の半額助成</p> <p>○埼玉県赤十字奉仕団へ補助金</p> <p>○ボランティア活動体験事業（県社協と共催） 参加者：27人</p> <p>○市民総合ボランティアセンターとの連携</p> <p>○市民総合ボランティアセンター運営協議会への参加 毎月1回</p> <p>○高校生ボランティア実践教育事業への協力 7月～8月</p> <p>○「平成30年度7月豪雨災害」における災害ボランティアセンターへの職員派遣 派遣日数：28日 場所：東広島市、広島市、倉敷市 派遣人数：7人</p>	<p>・学校での福祉教育の支援、福祉現場での体験機会の提供、地域での福祉教育の推進、市社協事業・関連福祉行事等の情報提供と啓発</p> <p>○高齢者疑似体験の実施 場所：埼玉総合技術高校</p> <p>○広報発行事業 年12回発行（月、1回）</p> <p>○ホームページの充実</p> <p>○年間、随時更新、福祉関係情報の発信</p> <p>○視覚障がい者の方への音訳広報の作成</p> <p>○福祉モニターの設置 8人</p> <p>・ボランティア研修会の開催、ボランティア保険加入支援、市民総合ボランティアセンターとの連携、災害時のボランティア活動の推進</p> <p>○手話ボランティア講座 ○ボランティア入門講座 ※実施予定1月</p> <p>○ボランティア活動保険掛金の助成</p> <p>○埼玉県赤十字奉仕団へ補助金</p> <p>○ボランティア活動体験事業（県社協と共催）</p> <p>○「埼玉市民総合ボランティアセンター」から「埼玉県ボランティアセンター」への業務移譲。（10月1日から）</p> <p>○介護支援ボランティアポイント制度の運営受託（10月1日から）</p>